

自衛隊体育学校から パリ2024 5競技 7名出場 7月26日開幕



競技日程（自衛官アスリート関係分）

2024年 7月26日～8月11日		FRY 26	SAT 27	SUN 28	MON 29	TUE 30	WED 31	THU 1	FRY 2	SAT 3	SUN 4	MON 5	TUE 6	WED 7	THU 8	FRY 9	SAT 10	SUN 11
レスリング	高谷大地 (フリースタイル74kg)															予選～ 準決勝	決勝	
	石黒隼士 (フリースタイル86kg)														予選～ 準決勝	決勝		
柔道	新添左季 (女子70kg) (混合団体)						女子 70kg			男女 混合 団体								
OWS (オープンウォータースイミング)	蝦名愛梨 (女子10km)														女子 10km 決勝			
近代五種	佐藤大宗														男子 フェンシング	男子 準決勝	男子 決勝	
	内田美咲														女子 フェンシング		女子 準決勝	女子 決勝
ラグビー (女子7人制)	梶木真凜			女子 予選	女子 予選	女子 順位 決定戦 決勝												



競技・種目

競技日程
(時間は日本時間)

日本代表選手紹介

レスリング

フリースタイル 74kg 級

予 選: 8月 9日 18:00~

決 勝: 8月 11日 01:15~

1等陸尉

高谷 大地

出 身 京都府

出身校 拓殖大学

2022 天皇杯

優勝

2023 明治杯

優勝

2023 世界選手権

3位



レスリング

フリースタイル 86kg 級

予 選: 8月 8日 18:00~

決 勝: 8月 10日 01:15~

2等陸曹

石黒 隼士

出 身 東京都

出身校 日本大学

2023 明治杯

優勝

2023 アジア選手権

3位

2023 天皇杯

優勝



柔 道

女子 70kg 級

個人戦: 7月 31日 17:00~

混合団体: 8月 3日 15:00~

2等陸尉

新添 左季

出 身 奈良県

出身校 山梨学院大学

2021 グrand Slam・パリ 優勝

2022 グrand Slam・東京 優勝

2023 世界選手権

優勝



オープンウォータースイミング

決 勝: 8月 8日 14:30~

2等陸曹

蝦名 愛梨

出 身 北海道

出身校 日本体育大学

2022 日本選手権

優勝

2023 日本選手権

2位

2024 ワールドカップ

7位



男子近代五種

フェンシングランキングラウンド:

8月 8日 18:00~

準決勝 AGp: 8月 9日 20:00~

BGp: 8月 10日 00:00~

決 勝: 8月 11日 00:30~

2等海曹

佐藤 大宗

出 身 青森県

出身校 青森山田高校

2021 全日本選手権

優勝

2023 アジア大会

6位

2023 全日本選手権

優勝



女子近代五種

フェンシングランキングラウンド:

8月 8日 21:30~

準決勝 AGp: 8月 10日 16:30~

BGp: 8月 10日 20:30~

決 勝: 8月 11日 18:30~

3等陸曹

内田 美咲

出 身 埼玉県

出身校 春日部共栄高校

2022 全日本選手権

優勝

2023 アジア大会

4位

2023 全日本選手権

2位



女子7人制ラグビー

予 選: 7月 28日 22:30~

予 選: 7月 29日 21:00~

順位決定戦・決勝:

7月 30日 03:00~ 21:30~

3等陸曹

梶木 真凜

出 身 福岡県

出身校 福岡工業大城東高校

2021 東京五輪

出場

2023 アジア大会

2位

HSBC SVNS 2024

出場





各種競技説明

レスリング



直径9メートルのマット上で3分×2回戦で試合を行い、相手の両肩を1秒以上マットにつけるとフォール勝ち、また、相手の背後を取る等により得点を重ね勝敗が決まる。腕などの上半身を使って、相手の上半身を攻撃する「グレコローマンレスリング」(男子のみ)と、足も使って相手の全身を攻撃する「フリースタイルレスリング」の2種類があり、パリでは体重別各6階級で試合を実施する。

柔道



©Photo kishimoto

試合時間は4分で一本を取った時点で終了、技が決まっても一本の条件を満たさない場合は、技ありとなる。両者とも一本がとれなかった場合、技ありのスコアで勝敗を決定。決着しない場合は延長戦を実施、一本、技ありを取るか、反則があった時点で勝敗が決まる。パリでは男女ともに体重別の7階級で試合を実施する。

水泳：OWS

(オープンウォータースイミング)



海や川・湖といった自然の水の中で行われる長距離水泳競技。オリンピックでは自由な泳法で10kmのタイムを競い、マラソンスイミングとも呼ばれる。

水質、天候、潮汐等、自然条件の影響を受ける点が競泳とは異なる。選手同士やクラゲとの接触、途中給水の成否等、競技中は外部から様々な影響を受けるため、危機管理も含め自然の中で泳ぐ経験や知識も必要となる。

近代五種



©Photo kishimoto

5種目(フェンシング、水泳、馬術、射撃、ランニング)を1日で行う。

フェンシングはエペ(全身が有効面)による一本勝負、水泳は200m自由形、馬術は当日割り当てられた馬で障害を超え得点を算出。これら3種目上位得点者からタイム差でスタート、600mランニングと射撃5発命中を交互に4回行い、最後に600mのランニングでゴールし、ゴール順が最終順位となる。

なお、次回大会以降、馬術がオブスタクル(障害走)に変更される。

ラグビー (女子7人制)



©Photo kishimoto

15人制ラグビーと同じフィールドを使い、前後半合わせて14分、より多く得点を獲得したチームが勝利となる。得点はトライ(相手のゴール領域内でボールを着地)が5点、ドロップゴール(ワンバウンド、キックしたボールがゴールポストを通過)が3点、ペナルティーゴール(相手の反則により付与されたペナルティキックによるゴール)が3点、コンバージョンゴール(トライ成立後にキックしたボールがゴールポスト間を通過)が2点となっている。